

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	国語	科目名	国語総合	単位数	3
対象学年組	1年		A組・B組・C組・D組・E組		
使用教科書	東京書籍 新編国語総合				
使用教材	浜島書店 漢字ボックス 東京書籍 図説国語				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	春季課題確認テスト 国語入門 随想「ルリボシカミキリの青」	中学校卒業程度の小説・評論・漢字・古典の知識を確認する。 α：自己紹介のスピーチなどで、目的、相手に応じて言葉を選んで話すことができる。 β：自己紹介のスピーチなどで、目的、相手に応じて話すことができる。 α：評論文の読解を通して、新しい見方や思考の過程を得る楽しさを味わい、論理の構成や展開を理解する。 β：評論文の読解を通して、新しい見方や思考の過程を得る楽しさを味わう。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	8
	5月	漢字の学習 評論「無彩の色」 詩「空をかついで」	α：漢字検定5級相当の漢字のうち、3割の漢字を読んだり書いたりすることができる。 β：漢字検定5級相当の漢字のうち、2割の漢字を読んだり書いたりすることができる。 α：随想の読解を通して、筆者のものの見方や考え方を理解し、今後の生き方や学習の在り方について考えることができる。 β：随想の読解を通して、筆者のものの見方や考え方を理解する。 ・詩に親しみ、詩を深く味わおうとすることができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	9
	6月	古文の学習 古文「児のそら寝」 古文学習のしるべ1 古文学習のしるべ2	言葉の歴史的な成り立ちと変遷について基本的な事柄を知る。 α：内容を読みこむことによって、古典を読む楽しさにふれ、現代の私たちが共鳴する部分について考察する。 β：内容を読みこむことによって、古典を読む楽しさにふれる。 古文特有の仮名遣い・語彙・文法を学習することが古文読解の重要な手段であることを理解する。 主語や助詞を補って古文を正しく解釈できるよう、口語訳の基本事項を学ぶ。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	12
	7月	古文「絵師良秀」	α：説話のおもしろさを味わい、古典に題材を採った近現代の作品に関心をもつ。 β：説話のおもしろさを味わい、古典に題材を採った近現代の作品を知る。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	6
2 学期	8月				
	9月	小説「羅生門」 漢字の学習	α：登場人物の心理や置かれた状況を読み取ると共に、各場面の状況を想像することができる。 β：登場人物の心理や置かれた状況を読み取ることができる。 α：漢字検定5級相当の漢字のうち、4割の漢字を読んだり書いたりすることができる。 β：漢字検定5級相当の漢字のうち、3割の漢字を読んだり書いたりすることができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	12
	10月	短歌・俳句「その子二十」 古文学習のしるべ3	α：短歌や俳句に親しみ、伝統的な定型詩としての言葉のはたらきを理解することができる。 β：短歌や俳句に親しみ、自ら創作へと向かっていくことができる。 文語と口語の文法の違いを知り、係り結びの法則を理解する。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	12
	11月	古文「伊勢物語」筒井筒	α：歌物語という分野に関心をもち、その特徴を理解する。 主語や助詞を補って古文を正しく解釈できるよう、口語訳の基本事項を学ぶ。 β：歌物語という分野に関心をもち、古典を読む楽しさにふれる。 助詞を補って古文を正しく解釈できるよう、口語訳の基本事項を学ぶ。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	12
	12月	漢字の学習 漢文入門 訓読の基本	α：漢字検定5級相当の漢字のうち、6割の漢字を読んだり書いたりすることができる。 β：漢字検定5級相当の漢字のうち、5割の漢字を読んだり書いたりすることができる。 α：返り点や送り仮名など、漢文訓読のきまりについて学習し、定着を図る。 β：返り点や送り仮名など、漢文訓読のきまりについて学習する。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	7
3 学期	1月	漢文に親しむ「故事」	α：故事成語とはどのようなものか理解し、故事成語が現代の日本語に果たす役割について理解する。 β：故事成語とはどのようなものか理解し、日常生活で使われている故事成語に関心をもつ。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	10
	2月	小説「夢十夜」第一夜 小説「夢十夜」第六夜	α：本文の内容を理解し、ことばの意味するものを考え、虚構性の高い小説の世界を味わう。 β：本文の内容を理解し、虚構性の高い小説の世界を味わう。 α：本文の内容・構成を理解し、虚構性の高い小説の世界を味わう。 β：時代背景や登場人物に着目し、虚構性の高い小説の世界を味わう。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	12
	3月	漢字の学習	α：漢字検定5級相当の漢字のうち、9割の漢字を読んだり書いたりすることができる。 β：漢字検定5級相当の漢字のうち、8割の漢字を読んだり書いたりすることができる。	(1) 授業態度 ①質問に対して積極的な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 (2) 提出物の提出状況と提出内容 (3) 定期考査と小テスト	5

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	公民科	科目名	現代社会	単位数	2
対象学年組	1年 A組・B組・C組・D組・E組				
使用教科書	帝国書院 高等学校新現代社会				
使用教材	なし				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4 月	1. 青年期について・悩むこと について 2. 生きることについて・学ぶ ことについて	1 (1) 青年期における発達段階の特徴を理解し、青年期の課題への適切な対応について 考察する。 1 (2) 悩みと向き合うことの重要性について認識し、悩みを解決する適切な方法につい て理解する。 2 (1) 人間の生き方を幸福や正義の実現という視点から捉え、よく生きることにつ いて考察するとともに、学ぶことの意義を理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況と内容の評価 等	6
	5 月	3. 宗教・日本人の思想につい て 4. 近代立憲主義の原理・日本 国憲法	3 (1) 宗教と人々とのかかわりを理解する。 3 (2) 日本における思想の変遷を理解し、日本人の考え方の特色である「受け 入れ思想」を考察するとともに、新しい文化の創造や発信について考察する。 4 (1) 近代立憲主義を、国家、国民主権、基本的人権と権力分立、法の支配の 考え方から理解する。 4 (2) 日本国憲法における三大原理を確認し、民主社会の実現に向けた取り組 みについて理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況と内容の評価 定期考査の結果 等	8
	6 月	5. 自由権 (1) ・ (2) 6. 社会権、参政権、国務請求 権 7. 広がる人権の考え方	5 (1) 自由権の定義の確認を通して、日本国憲法が保障する自由権のうち、精 神的自由について理解する。 5 (2) 日本国憲法が保障する身体的自由、経済的自由を理解し、自由と責任につ いて考察する。 6 (1) 日本国憲法における社会権等を理解し、自由権との違い、国民の権利と 義務について考察する。 7 (1) 新しい人権の内容と根拠について理解し、権利の行使と公共の福祉の関 係について考察する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況と内容の評価 等	8
	7 月	8. 1学期のまとめ	8 (1) 1学期の学習のまとめを行う。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況と内容の評価 定期考査の結果 等	4
2 学期	8 月				
	9 月	9. 国会のしくみ・内閣と行政 の役割と責任 10. 司法の役割と責任 11. 地方自治の役割・選挙制度	9 (1) 国会の役割やしくみをを確認し、三権との関係を理解する。 9 (2) 内閣と行政の役割や議院内閣制のしくみを理解し、行政の課題につ いて考察する。 10 (1) 司法の役割や日本の裁判のしくみ、違憲審査権などを確認する。 11 (1) 地方自治の考え方や地方分権のしくみを理解し、地方自治の課題を考 察する。 11 (2) 民主社会における政治参加や選挙の意義を理解し、選挙制度の課題を 考察する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況と内容の評価 等	8
	10 月	12. 経済活動と市場経済の考え 方 13. 市場のメリットと限界 14. 経済の変動	12 (1) 市場経済の考え方を通して、経済の循環と分業について理解する。 13 (1) 市場経済における価格のはたらきや、政府との関係について理解し、 資源の適正な配分について考察する。 14 (1) 景気や物価の変動について理解し、物価の変動が生活に及ぼす影響を 考察する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況と内容の評価 定期考査の結果 等	6
	11 月	15. 企業の役割・中小企業・農 業 16. 金融の役割 17. 政府と財政の役割	15 (1) 企業活動の目的や株式会社のしくみを理解し、企業の社会的責任を確 認する。 15 (2) 日本経済における中小企業の状況を確認し、その課題について考察す る。また、農業や食料自給率の現状を確認する。 16 (1) 金融の役割や日本銀行のはたらきを理解し、金融の現状と課題につ いて考察する。 17 (1) 市場における政府の役割を理解し、財政政策の機能と効果について考 察する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況と内容の評価 等	8
	12 月	18. 2学期のまとめ	18 (1) 2学期の学習のまとめを行う。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況と内容の評価 定期考査の結果 等	4
3 学期	1 月	19. 財政の課題・税制について 20. 労働者の権利と労働問題 21. 社会保障の考え方	19 (1) 日本の財政の現状と課題、税制のあり方について考察する。 20 (1) 市場経済における労働者の立場を確認し、労働者の権利や女性の現状 を理解する。 20 (2) 雇用形態の現状と問題点を理解し、労働環境の適正な整備について考 察する。 21 (1) 社会保障の考え方と日本の社会保障制度を理解し、現状と課題につ いて考察する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況と内容の評価 等	8
	2 月	22. 年金について 23. 国際経済のしくみとグロー バル化 24. 国連の成立と役割	22 (1) 日本年金機構の方を講師として招き、年金保険について制度を理解 し、課題を考察する。 23 (1) 国際経済で貿易が行われている理由を確認し、自由貿易の課題につ いて考察する。また、グローバル化が進む世界経済の現状を理解する。 24 (1) 国連の目的を理解し、国際社会の安定をはかる組織の構成や取り組み を確認する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況と内容の評価 等	8
	3 月	25. 3学期のまとめ	25 (1) 3学期の学習のまとめを行う。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況と内容の評価 定期考査の結果 等	2

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	数学	科目名	数学 I	単位数	3
対象学年組	1年 A組・B組・C組・D組・E組				
使用教科書	実教出版 高校数学 I 新訂版				
使用教材	実教出版 高校数学 I サブノート				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	(1) 数と式 A式の展開と因数分解 ・整式 ・整式の加法・減法 ・整式の乗法(1)	(1) 数と式 ・単項式の意味、およびその次数、係数について理解できている。 ・整式の意味を理解し、それを降べきの順に整理することができる。 ・整式の次数、定数項を理解できている。 ・整式の加法・減法を効率良く行うことができる。 ・分配法則を用いて、整式の乗法を計算することができる。	・各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ・事象を数学的に考察し処理する能力が身についているか。 ・問題演習や課題プリントの結果により評価する。	5
	5月	・整式の乗法(2) ・因数分解	・乗法公式を導く過程を理解し、それを用いて式を展開することができる。 ・整式の一部をまとめて1つの文字として見ることで、公式を適用して展開することができる。(αのみ) ・共通因数をくくり出す因数分解を行うことができる。 ・因数分解の公式を用いて、因数分解を行うことができる。 ・たすきがけによる因数分解を行うことができる。	・各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ・事象を数学的に考察し処理する能力が身についているか。 ・問題演習や課題プリントの結果により評価する。	10
	6月	B実数 ・根号を含む式の計算 C 1次不等式 ・不等式 ・不等式の性質 ・1次不等式の解法	・正の数の平方根を求めることができる。 ・根号を含む式の四則演算ができる。 ・分母を有理化し、効率良く計算することができる。 ・2重根号をはずすことができる。(αのみ) ・不等号の種類と意味を正しく理解し、2つの量の大小関係を、不等号を用いた式で表すことができる。 ・移項の考え方を適切に用いて、1次不等式を解くことができる。	・各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ・事象を数学的に考察し処理する能力が身についているか。 ・問題演習や課題プリントの結果により評価する。	12
	7月	・連立不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式	・分数や小数などの入った1次不等式を解くことができる。 ・1次不等式同士の連立不等式を解くことができる。(αのみ)	・各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ・事象を数学的に考察し処理する能力が身についているか。 ・問題演習や課題プリントの結果により評価する。	6
2 学期	8月				
	9月	(2) 2次関数 A 2次関数とそのグラフ ・関数 ・ $y=ax^2$ のグラフ ・ $y=ax^2+q$ のグラフ ・ $y=a(x-p)^2$ のグラフ ・ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ ・ $y=ax^2+bx+c$ のグラフ	(2) 2次関数 ・関数を式で表現し、定義域を正しく示すことができる。 ・ $y=ax^2$ の変化の様子がaの値によってどのように変わるか理解している。 ・放物線、軸、頂点、下に凸、上に凸という用語の意味を理解している。 ・ $y=ax^2$ のグラフと $y=ax^2+q$ 、 $y=a(x-p)^2$ 、 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフの関係を理解し、概形をかくことができる。 ・2次関数の一般式を標準形に変形し、グラフをかくことができる。	・各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ・事象を数学的に考察し処理する能力が身についているか。 ・問題演習や課題プリントの結果により評価する。	12
	10月	B 2次関数の最大・最小 ・2次関数の最大・最小 C 2次方程式・2次不等式 ・2次方程式の解	・2次関数の値の変化をグラフを用いて調べ、定義域に制限がない場合の最大値・最小値を求めることができる。 ・定義域内における2次関数の値の変化をグラフを用いて調べ、定義域に制限がある場合の最大値・最小値を求めることができる。(αのみ) ・因数分解や解の公式を利用して、2次方程式を解くことができる。	・各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ・事象を数学的に考察し処理する能力が身についているか。 ・問題演習や課題プリントの結果により評価する。	12
	11月	・2次方程式の実数解の個数 ・2次関数のグラフとx軸の共有点 ・2次不等式(1)	・判別式を利用して、2次方程式の実数解の個数を調べることができる。 ・2次方程式を解くことで、2次関数とx軸の共有点のx座標を求めることができる。 ・判別式を利用して、2次関数とx軸との共有点の個数を調べることができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ がx軸と共有点を2つもつとき、因数分解を利用して2次不等式 $ax^2+bx+c>0$ 、 $ax^2+bx+c<0$ を解くことができる。	・各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ・事象を数学的に考察し処理する能力が身についているか。 ・問題演習や課題プリントの結果により評価する。	12
	12月	・2次不等式(2)	・ $y=ax^2+bx+c$ がx軸と共有点を2つもつとき、解の公式を利用して2次不等式 $ax^2+bx+c>0$ 、 $ax^2+bx+c<0$ を解くことができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ がx軸と共有点を1つもつ、またはもたない場合の2次不等式 $ax^2+bx+c>0$ 、 $ax^2+bx+c<0$ を解くことができる。(αのみ)	・各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ・事象を数学的に考察し処理する能力が身についているか。 ・問題演習や課題プリントの結果により評価する。	6
3 学期	1月	(3) 図形と計量 A 三角比 ・三角比 ・三角比の利用 ・鋭角の三角比の相互関係	・定義を利用して、辺の長さが与えられたとき、サイン、コサイン、タンジェントの値を求めることができる。 ・三角比の表を用いて、三角比の値から角の大きさを読み取ることができる。 ・三角比の相互関係を利用して、ひとつの三角比の値が既知のとき、残りの2つの三角比の値を求めることができる。	・各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ・事象を数学的に考察し処理する能力が身についているか。 ・問題演習や課題プリントの結果により評価する。	11
	2月	・鈍角の三角比 B 図形の計量 ・正弦定理 ・余弦定理 ・三角形の面積	・180°までの角において、30°、45°(nは整数)の三角比の値を求めることができる。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさ、外接円の半径を求めることができる。 ・三角形の2辺の長さとその間の角の大きさから、面積を求めることができる。	・各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ・事象を数学的に考察し処理する能力が身についているか。 ・問題演習や課題プリントの結果により評価する。	13
	3月	・正弦定理と余弦定理の利用	・正弦定理と余弦定理の両方を利用して、三角形の未知の辺の長さや角をすべて求めることができる。 ・3辺の長さが既知の三角形の面積を求めることができる。(αのみ)	・各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ・事象を数学的に考察し処理する能力が身についているか。 ・問題演習や課題プリントの結果により評価する。	6

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2
対象学年組	1年		A組・B組・C組・D組・E組		
使用教科書	実教出版 高校生物基礎				
使用教材					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	1章生物の特徴 1節生物の共通性と多様性 1いろいろな生物 2生物の共通性の由来 3細胞の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物は多様でありながら、共通性があることを理解する。</li> <li>生物の共通性の由来を理解する。</li> <li>生物に共通する特徴のうち、全ての生物が細胞から成り立っていることを理解する。</li> <li>原核細胞と真核細胞の基本的な違いについて理解する。</li> <li>細胞が独自の機能をもついろいろな細胞小器官から成り立っていることを理解する。</li> </ul>	<p>観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつながられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。</p> <p>方法 提出物と考査により評価する。</p>	8
	5月	2節細胞とエネルギー 1代謝とエネルギー 2酵素	<ul style="list-style-type: none"> <li>単細胞生物と多細胞生物の存在を考察させ、からだを構成する細胞は一律ではないことを理解する。</li> <li>生物の体内では常に物質の合成や分解の化学反応が行われていることを考察させる。</li> <li>代謝にはエネルギーの移動が伴い、これにATPが重要な働きをしていることを理解する。</li> <li>酵素はタンパク質からできていること、生物体内の化学反応の触媒として働いていること、細胞内外の様々な生物現象と関わっていることを理解する。</li> </ul>	<p>観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつながられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。</p> <p>方法 提出物と考査により評価する。</p>	8
	6月	3呼吸 4光合成 5ミトコンドリアと葉緑体の起源	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸は有機物からエネルギーを解離してATPを生成する反応であることなどを通して同化と異化の意義を理解する。</li> <li>光合成は光エネルギーを化学エネルギーに変換して無機物から有機物を合成する反応であることを理解する。</li> <li>ミトコンドリアと葉緑体は、もとは独立した原核生物であり、単細胞生物に細胞内共生したことで生じたことを理解する。</li> </ul>	<p>観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつながられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。</p> <p>方法 提出物と考査により評価する。</p>	6
	7月	2章遺伝子とその働き 1節遺伝子とDNA 1ゲノムと遺伝子 2DNA研究の歴史 3DNAの構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲノムとは何かを理解する。</li> <li>現在のゲノム研究につながる過去のDNA研究について把握させ、どのようにしてDNAが遺伝情報を担っている物質であるとわかったかを理解する。</li> <li>形質転換、バクテリオファージの宿主細胞への感染・増殖などの証拠をもとに、遺伝子の本体がDNAであることを把握させる。</li> <li>DNAの構造については、互いに相補的な鎖からなる二重らせん構造をしていること、それらは四つの構成要素からなることを理解する。</li> </ul>	<p>観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつながられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。</p> <p>方法 提出物と考査により評価する。</p>	6
2 学期	8月				
	9月	2節遺伝情報の分配 1細胞分裂とDNA 3節遺伝情報とタンパク質の合成 1遺伝子とタンパク質	<ul style="list-style-type: none"> <li>体細胞分裂時の染色体の状態、細胞周期とDNA量の変化を理解する。</li> <li>生体はさまざまなタンパク質からなることに触れ、それらのタンパク質は遺伝子によりアミノ酸配列が決定されることで合成されることを理解する。</li> <li>DNAの塩基配列をもとにタンパク質が合成される過程で中立ちをしているRNAの特徴を理解する。</li> </ul>	<p>観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつながられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。</p> <p>方法 提出物と考査により評価する。</p>	8
	10月	2タンパク質の合成 3遺伝子の発現 3章生物の体内環境とその維持 1節体内環境 1体液と体内環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの塩基配列の情報が、転写によりmRNAに写し取られること、mRNAは翻訳によりDNAの塩基配列の情報どおりにアミノ酸を並べると理解する。</li> <li>細胞では、必要とするタンパク質が発現するよう調節されていることを理解する。</li> <li>恒常性について、体内では様々な働きがあることを理解する。</li> </ul>	<p>観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつながられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。</p> <p>方法 提出物と考査により評価する。</p>	6
	11月	2恒常性にかかわるしくみ 2節体内環境の維持のしくみ 1自律神経による調節 2ホルモンによる調節 3自律神経系とホルモンによる調節	<ul style="list-style-type: none"> <li>体液の循環では、心臓の構造と働き、ヘモグロビンの働きも理解する。</li> <li>血液凝固の仕組みや腎臓の構造と働き、肝臓の働きと恒常性の関係について理解する。</li> <li>代表的な例を通じて自律神経系の働きについて理解する。</li> <li>代表的な例を通じてホルモンの働きについて理解する。</li> <li>糖尿病などヒトの健康との関わりについても把握させる。</li> </ul>	<p>観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつながられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。</p> <p>方法 提出物と考査により評価する。</p>	8
	12月	3節免疫 1生体防御 2免疫のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>生体内には病原菌などの異物を認識し、排除して体内環境を保つしくみがあることを理解する。</li> <li>生体防御には自然免疫と獲得免疫があることを理解する。</li> <li>免疫に関わる細胞には、マクロファージや樹状細胞、リンパ球などがあることを理解する。</li> <li>身近な疾患と免疫反応、免疫の応用について代表的な例を取り上げ、理解する。</li> </ul>	<p>観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつながられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。</p> <p>方法 提出物と考査により評価する。</p>	6
	1月	4章生物の多様性と生態系 1節植生と遷移 1植物の生活と環境 2植生とその構造 3遷移と極相	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の生活と環境との間にどのような関わりがあるか把握させる。</li> <li>光合成速度が光の強さや温度などの外部環境の影響を受けていることを理解する。</li> <li>植物の水の吸収や水の上昇の仕組み、蒸散などを環境と関連させて理解する。</li> <li>植生とその構造については、森林を中心に扱い、階層構造について理解する。</li> <li>遷移については、光や水、土壌との関係を踏まえ、植生が移り変わっていくことを理解する。</li> </ul>	<p>観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつながられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。</p> <p>方法 提出物と考査により評価する。</p>	6
3 学期	2月	2節気候とバイオーム 1バイオームの分布 3節生態系と物質循環 1生態系 2エネルギーの流れと物質循環 3生態系のバランス 4節生態系のバランスと保全 人間生活と生態系	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温と降水量の違いによって、地球上には様々なバイオームが成り立つことを理解する。</li> <li>日本のバイオームについては、気温の違いによって成り立っていることを理解する。</li> <li>自然の見方としての生態系の概念、食物網やそれを通しての物質循環やエネルギーの流れを理解する。</li> <li>生態系バランスは常に変動していること、またその変動の幅は一定であることを理解する。</li> <li>生態系の保全の意義を把握させる。</li> </ul>	<p>観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつながられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。</p> <p>方法 提出物と考査により評価する。</p>	8
	3月				

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3
対象学年組	1年		A組・B組・C組・D組・E組		
使用教科書	最新高等 保健体育				
使用教材					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	オリエンテーション 体づくり運動・体力測定練習 柔道 剣道	体育の授業を安全に行うために注意することを理解する。体育の単位修得に必要なことを理解する。体の状態に応じて運動することができる。体力を高めるために運動することができる。50m走の計測・握力の計測を正確に実施することができる。 柔道衣の着方と受身の意味を理解し、正しい礼儀作法を身につけることができる。ストレッチ、補強運動、回転運動のやり方が理解できる。後受身の意味、正しい方法が理解できる。 礼法における呼吸法を理解して、大きな声を出すことができる。竹刀の持ち方、構え方の正しい姿勢を理解する。	話を聞く態度 態度と計測記録 着衣、礼法、正しい受身の形が出来ているか。 用具の名称を覚える。姿勢・足構え・礼の作法。竹刀の握り方。	7
	5月	体づくり運動・体力測定練習 柔道 剣道	体力を高めるために運動することができる。長座体前屈・上体起こし・反復横跳び・ハンドボール投げ・持久走の計測を、正確に実施することができる。 ストレッチ、補強運動、回転運動のやり方が理解できる。後受身、横受身の意味、正しい方法が理解できる。膝つきからの前回受身のやり方が理解できる。 大素振り、斜め振り大きくまっすぐに振ることができる。三挙動を理解して、面打ちができる。前進後退面・左右面などいろいろな面の打ち方を理解する。	話を聞く態度と計測記録 正しい受身の形が出来ているか。手の着き方、回転の順番、横受け身が正しくできているか。 竹刀の基本的な振り方（大振り・面振り・小手振り等）打ち方（打ち込み面・打ち込み小手・銅打ち等）すり足の運び型（前後・左右・踏込）	10
	6月	体づくり運動・スポーツテスト 水泳 柔道 剣道	体力を高める運動を通して健康の保持増進を図ることができる。スポーツテストの計測を、正確に実施することができる。クロールを、手と足・呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。 ストレッチ、補強運動、回転運動が正しく出来る。立った状態から前回受身が出来る。袈裟固めが出来る。袈裟固めの逃げ方が出来る。横四方面が正しく出来る。 面、小手～面・胴の打ち込みができる。防具の仕組みを理解して、すばやく正確に差込できる。	話を聞く態度と計測記録 泳形、記録 手の着き方、回転の順番、横受け身が正しくできているか。首、腕の極め、体のさばきが正しくできている。 防具の名称及び装着の仕方。ひもの結び方。基本的動作を応用した。打ち込み及び連続動作(小手・面・銅)	10
	7月	水泳 柔道 剣道	クロールと平泳ぎを、手と足・呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。 前回り受身から立つことが出来る。横四方面の逃げ方が出来る。上四方面の逃げ方が出来る。縦四方面、肩固が出来る。縦四方面、肩固の逃げ方が出来る。うつ伏せの相手を抑え込むことが出来る。背中合わせから、寝技の乱取りができる。 切り返しの四原則を理解して切り返しができる。	話を聞く態度と計測記録 正しい体の使い方が出来ているか。 対人練習の仕方と足の運びと連動した竹刀の操作	4
2 学期	8月				
	9月	水泳 卓球/バドミントン 柔道 剣道	クロールと平泳ぎを、手と足・呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。 種目特性の理解とサーブをコントロールして打つことができる うつ伏せの相手を抑え込むことが出来る。背中合わせから、寝技の乱取りができる。投技の崩し、つくり、掛けの意味を理解する。膝車、大腰で投げる事が出来る。 面打ち、小手打ち、小手～面・胴ができる。下がり技面、下がり小手、下がり胴ができる。	泳形、記録 正しい動きやラケットの使い方が出来ているか 正しい体の使い方が出来ているか。 面打ち・小手打ち・連続打ち、ひき面・ひき小手・ひき同の体得	12
	10月	卓球/バドミントン 柔道 剣道	ルールを理解してシングルスおよびダブルスのゲームができる 大腰、一本背負、体落とし、背負い投げで投げる事が出来る。後回りさばきで大腰、一本背負い投げで投げる事が出来る。 体当たり・払い技・面、小手ができる。小手～すり上げ技、面～すり上げ技ができる。	正しい動きやラケットの使い方が出来ているか 正しい体の使い方が出来ているか。 仕掛け技から応じ技の体得	12
	11月	バドミントン/卓球 柔道 剣道	種目特性の理解とサーブをコントロールして打つことができる 後回りさばきで体落とし、背負い投げで投げる事が出来る。大外刈り、支え釣り込み足、大内刈りで投げる事が出来る 小手～抜き技ができる。面～応じ技ができる	正しい動きやラケットの使い方が出来ているか 正しい体の使い方が出来ているか。 仕掛け技から応じ技への展開	12
	12月	バドミントン/卓球 陸上競技 柔道 剣道	ルールを理解して、シングルスおよびダブルスのゲームができる。 ペースに応じて一定の時間を走ることができる。 移動しながら投げる事が出来る。連絡技が出来る。約束乱取りができる。 かかり稽古を行うことができる。	正しい動きやラケットの使い方が出来る 毎時間のフォームとペース 正しい体の使い方が出来ているか。 対人でかかり稽古を行い。多数の者と対戦させる。	11
	1月	陸上競技 柔道 剣道	ペースに応じて一定の時間を走ることができる。 約束乱取りができる。立ち技乱取りができる。 地稽古を行うことができる。審判法を理解する。	毎時間のフォームとペース 正しい体の使い方が出来ているか。 自ら積極的に相手を探し対戦する。競技規則を理解し、審判を行う。	8
3 学期	2月	陸上競技 柔道 剣道	ペースに応じて一定の時間を走ることができる。 立ち技乱取りが出来る。審判法を理解する。試合形式の乱取りができる。 試合規則を理解して、試合ができる。	毎時間のフォームとペース 正しい体の使い方が出来ているか。ルールを把握し、審判をすることが出来る。相手の動きに応じた技をかける事が出来る。 団体戦を行いチームとしての勝利を目指す。	10
	3月	体育理論 柔道 剣道	スポーツの意義や歴史、文化的特徴、オリンピックと国際理解について学習する。 試合形式の乱取りができる 試合規則を理解して、試合ができる。	プリント学習及びチェック 相手の動きに応じた技をかける事が出来る。 個人戦を行い勝利を目指す。	9

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1
対象学年組	1年 A組・B組・C組・D組・E組				
使用教科書	最新高等 保健体育				
使用教材					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4 月	健康の考え方と成り立ち  私たちの健康のすがた	健康の考え方が変化していることを例をあげて説明できる。 健康を成り立たせている要因をあげることができる。  わが国の健康水準の変化とその背景を説明できる。 わが国の現在の健康問題をあげることができる。	話を聞く態度 ノートへの記入 内容の理解度	3
	5 月	健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり  生活習慣病とその予防	健康に関する意思決定・行動選択には、何が重要かを説明できる。 ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴を説明できる。  生活習慣病の例をあげ、なぜその病気が生活習慣病と呼ばれるかを説明できる。生活習慣病を予防する方法を2つに分けて説明できる。	話を聞く態度 ノートへの記入 内容の理解度	3
	6 月	食事と健康  運動・休養と健康	健康にとっての食事の意味について説明できる。 健康的な食事のポイントを上げることができる。  運動が健康に及ぼす影響と、健康により運動の行い方について説明できる。 健康にとっての休養の意味と、適切な休養のとり方について説明できる。	話を聞く態度 ノートへの記入 内容の理解度	3
	7 月	喫煙と健康	喫煙者やその周囲の人に起こる害を説明できる。 日本や世界における喫煙対策の例をあげることができる。	話を聞く態度 ノートへの記入 内容の理解度	2
2 学期	8 月				
	9 月	飲酒と健康  薬物乱用と健康	飲酒による健康への短期的な影響と長期的な影響を説明できる。 飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策の例をあげることができる。  薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響について説明できる。 薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策の例をあげることができる。	話を聞く態度 ノートへの記入 内容の理解度	4
	10 月	感染症とその予防  性感染症・エイズとその予防	新たな感染症の問題に関して例をあげて説明できる。 感染症の予防について、社会と個人に分けて説明できる。  新たな感染症の問題に関して例をあげて説明できる。 感染症の予防について、社会と個人に分けて説明できる。	話を聞く態度 ノートへの記入 内容の理解度	4
	11 月	欲求と適応規制  心身相関とストレス	人間の欲求の種類を説明できる。 欲求不満に対処するための適応規制の例をあげることができる。  心と体の働きが相互に影響しあう関係について例をあげて説明できる。 ストレスの心理・社会的要因と物理的要因の例をあげることができる。	話を聞く態度 ノートへの記入 内容の理解度	4
	12 月	心の健康のために	ストレスへのさまざまな対処方法の例をあげることができる。 自己実現と心の健康の関係を説明できる。	話を聞く態度 ノートへの記入 内容の理解度	2
	1 月	交通事故の現状と要因  交通事故を防ぐために	若者の交通事故の特徴を説明できる。 交通事故の発生に関係する要因を、例をあげて説明できる。  運転者に必要な資質と責任を説明できる。 安全な交通社会づくりのための対策を、例をあげて説明できる。	話を聞く態度 ノートへの記入 内容の理解度	4
3 学期	2 月	応急手当の意義とその基本  日常的な応急手当	適切な応急手当の意義を説明できる。 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる。  日常的な応急手当の手順や方法を説明できる。熱中症の応急手当の手順や方法が説明できる。	話を聞く態度 ノートへの記入 内容の理解度	4
	3 月	心肺蘇生法の原理と行い方	胸骨圧迫、人工呼吸、AEDによる除細動の原理を説明できる。 心肺蘇生法の各手順のポイントをあげることができる。	話を聞く態度 ノートへの記入 内容の理解度	2

授業時数合計

35

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	芸術	科目名	音楽 I	単位数	2
対象学年組	1年 A組・B組・E組				
使用教科書	音楽之友社 改訂版 高校生の音楽 1				
使用教材	プリント、楽譜など、「高等学校音楽鑑賞DVD 世界の民俗音楽」 「和楽器ガイドDVD」「音楽鑑賞DVD日本の伝統芸能」				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	楽典 歌唱 器楽 鑑賞 創作	リズム練習 拍を感じてリズムをたたく 歌唱・独唱 呼吸法、歌うための身体作り・校歌習得、打楽器 ドラム奏法、クラベスの奏法習得 打楽器奏者の楽器の構え方、身体の使い方をDVDで観る 自分の表現に活かす リズムの組み合わせによるフレーズを作る 楽典と器楽での学びを合わせ、自作のフレーズを打つ	1 音楽の基本的な知識を理解できたか（思考・判断） 2 授業のテーマに関心を持ち、意欲的に取り組めたか（関心・意欲・態度） 3 楽器などを通し、他者と協力しながら表現できたか（表現・技能）	8
	5月	基礎 歌唱 器楽 鑑賞 創作	リズム練習 4分音符、8分音符、2分音符の意味理解 発声・独唱 その曲にあった発声の歌唱方法を習得 ラテン楽器によるリズム習得、ラテン楽器を使い民族なリズムを表現する サンバ、タンゴなどの民族音楽を鑑賞 世界の民族音楽を知り、音楽上の特徴を理解する 民族音楽の特徴を理解したリズム作り 音楽様式に合わせたリズムを作り、演奏する	1 楽典知識を理解し、民族音楽などに応用させることができたか（技能・表現・思考判断） 2 民族音楽に関心を持って取り組めたか（関心・意欲・態度）	8
	6月	基礎 歌唱 器楽 鑑賞 創作	リズムとフレーズの理解 2小節の聴音課題をする。音符の意味を理解し、聞き取る 発声・独唱 校歌を習得し、しっかりと発声で歌う キーボード奏法 指使い、鍵盤の位置など基礎的な奏法を学ぶ ミュージカル鑑賞 舞台作品を見て、映画などと何が違うかなど批評活動を行う 印象を言葉にする方法を学ぶ 他者にどのように感じたことを伝えるか、発表を通してマナーを学ぶ	1 楽典を学び、知識を組み合わせる聞き取ることができたか。（思考・判断・技能） 2 課題に関心を持って取り組み、言語活動に生かせるか（表現） 3 授業に積極的に取り組むことができたか（関心・意欲・態度）	10
	7月				
2 学期	8月				
	9月	楽典 歌唱 器楽 鑑賞 創作	キーボードの楽譜を知る 五線譜の読み方を習得 合唱 自分のパートを歌う キーボード奏法 右手のメロディを弾く ポピュラー音楽のルーツ ブラックミュージックの歴史的背景を知り、成立について学ぶ ラップを日本語で作る 自己紹介をラップにする。	1 キーボードを弾くことに見通しをもって学習に取り組めたか（関心・意欲・態度） 2 ポピュラー音楽を世界史と絡めて理解し、その成立を理解できたか（思考・判断） 3 日本語ラップ自己紹介を作り、表現できたか（表現・技能）	8
	10月	楽典 歌唱 器楽 鑑賞 創作	拍子記号と音部記号 拍子の把握、音域についてを知る 合唱 自分のパートを歌う キーボード奏法・レベル別に取り組む 右手、または両手を使う簡単な楽曲を弾く 三味線・長唄・民謡 和楽器を知り、その奏法や特色から日本音楽の特色を知る キーボードを使い、5音音階でわらべうたを作曲する 日本音楽の特色を理解し、わらべ唄の言葉とリズムに即した作品を提出	1 楽譜について知り、キーボードの練習に取り組むことができたか（思考・判断・技能） 2 日本音楽に関心を持ち、さまざまな特色について知る事ができたか。（関心・意欲・態度） 3 作曲課題に取り組み、作品を作ることができたか（表現・技能）	10
	11月	楽典 歌唱 器楽 鑑賞 創作	コードネーム奏法 コードネームの伴奏について Jポップの独唱 Jポップの歌唱方法、発声を学ぶ コードネームによる伴奏をする（キーボード） キーボードの和音の押さえについて学び、弾く 日本の伝統芸能を鑑賞 能、歌舞伎、文楽などユネスコ指定の芸能を観る。どのような違いがあるかを知る 動きと音の関係 テレビなどの効果音はどのようにつけると効果的なのか、グループ活動で実践し、理解を深める	1 キーボード奏法の知識を理解し、演奏できたか（思考・判断・表現） 2 自分のスキルにあった曲の練習に見通しをもって取り組めたか（技能） 3 課題に積極的に取り組めたか（関心・意欲・態度）	10
	12月				
	1月	楽典 歌唱 器楽 鑑賞 創作	作曲法 循環コード 循環コードによる作曲法について学び、現代のポップスの音楽を分析する Jポップの発声と声の技 即興的な声の技を用い、メロディーを自分の表現にする ギター奏法 TAB譜による奏法を習得する 世界の様々なギターを鑑賞する 民族音楽のギターを通し、歴史的な伝播や様々な音楽様式を学ぶ Jポップの声の技 どのように声の技を用い、自分の表現とするかを考え、自分の楽譜を作る。	1 作曲方法を理解できたか（思考・判断・技能） 2 演奏に関心を持って取り組み、表現ができたか（表現） 3 授業に積極的に取り組むことができたか（関心・意欲・態度）	8
3 学期	2月	楽典 歌唱 器楽 鑑賞 創作	現代の音楽シーンのジャンルの特徴 Jポップ、ロック、ヒップホップ、EDMなどの音楽ジャンルについて特徴を知る ギターによる弾き語り 簡易コードを弾き、自分で伴奏しながら、歌う ギター奏法 簡易コードによる伴奏をする 西洋音楽・バレー鑑賞 オリジナル種目から、音楽と身体美がどのように作られてきたかを歴史的観点から考察する 音楽を紹介する文章を作る 客観的視点を有した、他者に分かりやすい文章を書く	1 現代の様々な音楽の特徴を理解できたか（関心・意欲・態度・思考・判断） 2 弾き語りに意欲的に取り組み、演奏ができたか（表現・技能） 3 音楽を客観的に解析し、それを的確に他者に伝えることができたか（技能）	8
	3月				

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	芸術	科目名	音楽 I	単位数	2
対象学年組	1年		C組・D組		
使用教科書	改訂版 高校生の音楽1 (音楽之友社)				
使用教材	歌のミュージックランド (教育芸術社)				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4 月	ガイダンス	・ガイダンス 目標を確認する ・発声法の基本について理解する	授業に取り組み姿勢	6
	5 月	歌唱	・正確なリズムと音程で歌う	授業に取り 組む姿勢	8
		合唱	・混声2部合唱などに取り組み男女の発声法の違いを 理解する。	実技の習得度	
	6 月	合唱	・ハーモニーを感じながら歌う 夏の日の贈りもの、など	授業に取り 組む姿勢	8
歌唱		・実技発表を通して、各々の長所に気づく	実技テスト		
	7 月	鑑賞	・鑑賞を通して発声の知識を深める	授業に取り組む姿勢	6
2 学期	8 月				
	9 月	歌唱	・英語の歌を正確に歌う ・英語の発声法について考える	実技の習得度 授業に取り 組む姿勢	8
		合唱	・楽譜の記号などに注意しながら歌う ・合唱のハーモニーを感じながら歌う	授業に取り 組む姿勢 実技の習得度	
	1 1 月	鑑賞	・いろいろな発声法があることを理解する	授業に取り 組む姿勢	8
		歌唱	・実技発表を通して、各々の長所を感じる	実技テスト	
	1 2 月	合唱	合唱の発生について理解する。	実技の習得度	4
3 学期	1 月	歌唱	・現代ポップス音楽について理解を深める	授業に取り 組む姿勢	6
		合唱	・より美しい合唱法について考える	実技の習得度	
	2 月	歌唱	・現代ポップス音楽の発声法について理解を深める	授業に取り 組む姿勢	6
合唱		・合唱の発表を通して、より良い表現について考える	授業に取り 組む姿勢		
3 月	歌唱	・個々の特徴を活かした発声法について理解を 深める	実技テスト	2	

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	芸術	科目名	美術	単位数	2
対象学年組	1年		A組・B組・C組・D組・E組		
使用教科書	日本文教出版 「高校生の美術Ⅰ」				
使用教材	カリグラフィーペン・ドローイングインク・皮革・パルサ材・ワックス塗料・ハニカムト・画用紙・ケント紙他				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	・オリエンテーション（文字英語の筆記体・手の素描） ・骨格をもとにした自画像素描	・既成概念でモノをみる見方を再考し発見する。 ・頭蓋の原型をベースにして眼窩に眼球を挿入し鼻腔と鼻の構造を考え描く ・美術解剖学に基づいて考察しながら人体の構造を考える。	①人体の構造を意識して制作しているか ②観察することで多様な発見に気づいているか ③準備・かたづけがきちんと出来ているか。 ④自己と他者との表現の違いと共に、鑑賞を通して感情を共有する	4
	5月	・自画像（鉛筆による）素描	・トレーシングペーパーで制作した自画像を画用紙に転写し、明暗をつける。	①顔面の構造と各部位の比率を把握しているか ②光源を考えて明暗の工夫が表現できているか ③準備・かたづけがきちんと出来ているか。	6
	6月	立体模写	教科書などから名画と呼ばれる作品を選ぶ。作品の一部をトリミングしてその特徴を捉え材質の異なる木にパルサ材などを接着したり彫刻刀で凹凸に表現する。 ・現代美術への空間表現の多様性を学ぶ。 ・ワックスを塗装し色彩の微妙な味わいを考えて構成する。	①制作過程を楽しみ、イメージした作品の制作に打ち込めたか。 ②準備・かたづけがきちんと出来ているか。 ③自己と他者との表現の違いと共に、鑑賞を通して感情を共有する	8
	7月	立体模写	・名画そのものの鑑賞を味わい、芸術作品を身近に感じ美術の在り方を学ぶ	①実感が他者に伝わるように説明表ができる①独自の発想力を制作にいかす。 ②制作過程を通じてイメージした作品の制作に反映されたか。 ③準備・かたづけがきちんと出来ているか。	4
2 学期	8月				
	9月	カリグラフィー ・イニシャルの応用・名前のロゴをデザイン	・自分の名前を筆記体にし、イタリック・ゴシックで表現する。 ・カリグラフィー専用のペン先を使用し用途に応じサージペンを付けかえ特性を学び イラストやアニメーションで使用されるペン表現を理解する。 ・繊細な線・力強い線等、ペン先の特徴の強弱を感じながら制作する。 ・文字の特性から中世の文字を転写しイニシャルを研究する。	①インクの特性とペンによる線の美しさ、ゴシックとイタリックの相違点を表せているか ②世界的な文字の歴史の変遷が理解できているか	8
	10月	カリグラフィー ・イニシャルの応用・名前のロゴをデザイン	・自分の名前を筆記体にし、イタリック・ゴシックで表現する。 ・カリグラフィー専用のペン先を使用し用途に応じサージペンを付けかえ特性を学び イラストやアニメーションで使用されるペン表現を理解する。 ・繊細な線・力強い線等、ペン先の特徴の強弱を感じながら制作する。 ・文字の特性から中世の文字を転写しイニシャルを研究する。	①インクの特性とペンによる線の美しさ、ゴシックとイタリックの相違点を表せているか ②世界的な文字の歴史の変遷が理解できているか	8
	11月	レザークラフト	・カリグラフィーで学んだイニシャルを転写し皮に刻印し表現。（工芸デザイン） ・皮の特性と凹凸による表現や多様性を学習し製品化されたブランドなどへの検証を考察	①皮革製品の特性を理解しているか ②高級感と価値観の社会性との関係性が把握できているか ③制作過程を楽しみ、イメージした作品の制作に打ち込めたか。 ④準備・かたづけがきちんと出来ているか。	8
	12月	レザークラフト	・皮革製品のクオリティを鑑賞し自らのブランドに向けて自分の好きなキャラクターなどへの応用をする。（工芸デザイン） ・皮の特性と凹凸による表現や多様性を学習し伝統技術への理解を深める ・皮革製品の特色としての染色の色彩を学習実践する。	①皮革製品の特性を理解しているか ②高級感と価値観の社会性との関係性が把握できているか ③制作過程を楽しみ、イメージした作品の制作に打ち込めたか。 ④準備・かたづけがきちんと出来ているか。	4
3 学期	1月	紙による立体制作	・庭園美術館にある金平糖の形状をした照明器具を1枚の紙から組み立てA素描しB色彩を施し立体化した際に位置を考慮し効果を考える。	①紙の特性を学習し応用できているか ②平面から立体への展開が制作できているか ③準備・かたづけがきちんと出来ているか。	8
	2月	ポップアップカード	・紙の特性を生かし、飛び出す立体的仕組みを考える。デザインカッターを駆使して細密な表現を探究する	①紙の特性を学習し応用できているか ②平面から立体への展開が制作できているか ③準備・かたづけがきちんと出来ているか。	8
	3月	水引制作	・日本の風習を再考し、金沢などで育まれた日本文化の水引を試作し味わう	①季節や用途において日本文化の継承を鑑賞する	4

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	英語	科目名	コミュニケーション英語 I	単位数	2
対象学年組	1年 A組・B組・C組・D組・E組				
使用教科書	VISTA English Communication I				
使用教材	チャンクで英単語 Basic、チャンクで英単語Basic ドリルノート1、Zoom入門ノート				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	英文法復習 Lesson1 Kerama Blue?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の文法の復習をする。</li> <li>・挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現を身につける。</li> <li>・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。</li> <li>・基本単語を覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室英語の基本及び英語による簡単な指示は理解できる。</li> <li>・音読に取り組むことができる。</li> <li>・基本英単語覚える努力ができる。</li> </ul>	5
	5月	Lesson1 Kerama Blue? Lesson2 Cool Japan	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。</li> <li>・基本単語を覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室英語の基本及び英語による簡単な指示は理解できる。</li> <li>・音読に取り組むことができる。</li> <li>・基本英単語覚える努力ができる。</li> </ul>	7
	6月	Lesson2 Cool Japan Lesson3 Mexican Dishes	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相づちを打ったり、聞きなおしたりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。</li> <li>・基本単語を覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室英語の基本及び英語による簡単な指示は理解できる。</li> <li>・音読に取り組むことができる。</li> <li>・基本英単語覚える努力ができる。</li> </ul>	8
	7月	Lesson3 Mexican Dishes	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相づちを打ったり、聞きなおしたりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。</li> <li>・基本単語を覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室英語の基本及び英語による簡単な指示は理解できる。</li> <li>・音読に取り組むことができる。</li> <li>・基本英単語覚える努力ができる。</li> </ul>	5
2 学期	8月				
	9月	Lesson4 The Olympics	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相づちを打ったり、聞きなおしたりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。</li> <li>・基本単語を覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章を音読に取り組むことができる。</li> <li>・英語の挨拶等、簡単な会話を行うことができる。</li> <li>・基本英単語覚える努力ができる。</li> <li>・英語による発問を聞き取ることができる。</li> <li>・文法事項を学習する取り組みができる。</li> </ul>	8
	10月	Lesson4 The Olympics Lesson5 Baobabs in Madagascar	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相づちを打ったり、聞きなおしたりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。</li> <li>・基本単語を覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章を音読に取り組むことができる。</li> <li>・英語の挨拶等、簡単な会話を行うことができる。</li> <li>・基本英単語覚える努力ができる。</li> <li>・英語による発問を聞き取ることができる。</li> <li>・文法事項を学習する取り組みができる。</li> </ul>	9
	11月	Lesson5 Baobabs in Madagascar	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相づちを打ったり、聞きなおしたりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。</li> <li>・基本単語を覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章を音読に取り組むことができる。</li> <li>・英語の挨拶等、簡単な会話を行うことができる。</li> <li>・基本英単語覚える努力ができる。</li> <li>・英語による発問を聞き取ることができる。</li> <li>・文法事項を学習する取り組みができる。</li> </ul>	8
	12月	Lesson5 Baobabs in Madagascar	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相づちを打ったり、聞きなおしたりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。</li> <li>・基本単語を覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章を音読に取り組むことができる。</li> <li>・英語の挨拶等、簡単な会話を行うことができる。</li> <li>・基本英単語覚える努力ができる。</li> <li>・英語による発問を聞き取ることができる。</li> <li>・文法事項を学習する取り組みができる。</li> </ul>	4
3 学期	1月	Lesson6 Toothbrushing in Edo	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。</li> <li>・基本単語を覚える。</li> <li>・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>・一定のテーマに沿って、又は特定の場面で自分の考えた内容を英文で発表したり、必要な会話ができる。</li> <li>・挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章を音読に取り組むことができる。</li> <li>・英語の挨拶等、簡単な会話を行うことができる。</li> <li>・基本英単語覚える努力ができる。</li> <li>・英語による発問を聞き取ることができる。</li> <li>・文法事項を学習する取り組みができる。</li> </ul>	6
	2月	Lesson6 Toothbrushing in Edo	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。</li> <li>・基本単語を覚える。</li> <li>・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>・一定のテーマに沿って、又は特定の場面で自分の考えた内容を英文で発表したり、必要な会話ができる。</li> <li>・挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章を音読に取り組むことができる。</li> <li>・英語の挨拶等、簡単な会話を行うことができる。</li> <li>・基本英単語覚える努力ができる。</li> <li>・英語による発問を聞き取ることができる。</li> <li>・文法事項を学習する取り組みができる。</li> </ul>	6
	3月	Lesson6 Toothbrushing in Edo	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。</li> <li>・基本単語を覚える。</li> <li>・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>・一定のテーマに沿って、又は特定の場面で自分の考えた内容を英文で発表したり、必要な会話ができる。</li> <li>・挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章を音読に取り組むことができる。</li> <li>・英語の挨拶等、簡単な会話を行うことができる。</li> <li>・基本英単語覚える努力ができる。</li> <li>・英語による発問を聞き取ることができる。</li> <li>・文法事項を学習する取り組みができる。</li> </ul>	4

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	人間と社会	科目名	人間と社会	単位数	1
対象学年組	1年 A組・B組・C組・D組・E組				
使用教科書	人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」				
使用教材					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	人間と社会についてのガイダンス 環境の保全を図る活動	第2章、第11章、第12章、第18章を中心に、生きていく上で大切にしたいことをワークや考察させる。 第2章 学ぶことの意義をテーマに、環境に関する学習を中心に、新江東清掃工場及びごみ最終処分場へ実際に行き、ゴミの処理方法や環境保全について、学習の必要性を体験的に学習する。	教員による授業の観察記録や学習の記録、生徒の自己評価、体験活動の連携先の評価等を総合的に判断する。	3
	5月	学ぶことの意義 支え合う社会 地域社会を築く 主権者としての自覚	第2章 アンケート結果や高校生活の体験談からわかる、学ぶことの大切さについて、社会保険労務士等の外部講師の講演をまじえた演習をする。 第11章 人生のリスクや自助・共助・公助の大切さについて、東京消防庁荻窪消防署の講演をまじえた演習をする。 第12章 地域社会で活動する人々や地域社会を巡る現状から地域社会について、ワーク等を活用した演習をする。 第18章 若者の政治参加・選挙権について、杉並選挙管理委員会の講演をまじえた演習をする。	教員による授業の観察記録や学習の記録、生徒の自己評価、体験活動の連携先の評価等を総合的に判断する。	12
	6月	まちづくりの推進を図る活動	第12章 共に生きる社会の一員になろう！！ 事前学習・・・社会の一員として何が大事かを考える 奉仕体験活動・・・杉並・わがまちクリーン大作戦に参加	教員による授業の観察記録や学習の記録、生徒の自己評価、体験活動の連携先の評価等を総合的に判断する。	3
	7月	1学期のまとめ	第2章、第11章、第12章、第18章について、一学期の学習内容をまとめる。	教員による授業の観察記録や学習の記録、生徒の自己評価、体験活動の連携先の評価等を総合的に判断する。	1
2 学期	8月				
	9月	災害救助活動	第11章 ボランティア活動の意義とその活動について 事前学習・・・ボランティア活動の意義 防災訓練を通じて自助・共助・公助について実践的に学ぶ 奉仕体験活動・・・人工呼吸、AED、三角巾の使用方法を会得 事後学習・・・災害救助活動の確認	教員による授業の観察記録や学習の記録、生徒の自己評価、体験活動の連携先の評価等を総合的に判断する。	4
	10月	まちづくりの推進を図る活動	第12章 奉仕体験活動・・・地元の方々と一緒に行う活動 事後学習・・・活動の記録作成について	教員による授業の観察記録や学習の記録、生徒の自己評価、体験活動の連携先の評価等を総合的に判断する。	2
	11月	学ぶことの意義	第2章 学びで大切なこと 事前学習・・・環境学習を中心としてボランティアと行政の立場の違いについて学ぶ 奉仕体験活動・・・善福寺公園の清掃活動 事後学習・・・奉仕体験活動の自己評価及び課題の確認	教員による授業の観察記録や学習の記録、生徒の自己評価、体験活動の連携先の評価等を総合的に判断する。	4
	12月	2学期のまとめ	第2章、第11章、第12章、第18章について、一学期の学習内容をまとめる。	教員による授業の観察記録や学習の記録、生徒の自己評価、体験活動の連携先の評価等を総合的に判断する。	1
3 学期	1月	主権者としての活動	第18章主権者としての自覚を養うために大切な考えを中心に、一票を投じることの重さや主権者としての自分を考察する。	教員による授業の観察記録や学習の記録、生徒の自己評価、体験活動の連携先の評価等を総合的に判断する。	2
	2月	主権者としての活動	第18章主権者としての自覚を養うために大切な考えを中心に、一票を投じることの重さや主権者としての自分を考察する。	教員による授業の観察記録や学習の記録、生徒の自己評価、体験活動の連携先の評価等を総合的に判断する。	2
	3月	年間のまとめ	第2章、第11章、第12章、第18章について、年間の学習内容をまとめる。	教員による授業の観察記録や学習の記録、生徒の自己評価、体験活動の連携先の評価等を総合的に判断する。	1

授業時数合計

35